

学 界 消 息

1. エジプトとシリアの気象台統合

アラブ連合共和国政府ができて、エジプトとシリアの気象台は統合され、「アラブ連合共和国気象台」と呼ばれることになった。初代気象台長は現エジプト気象台長 M.F. Taha 氏である。

2. メルボルンに協極気象中枢設置

IGY 期間中、南極のリトルアメリカ基地にあった気象中枢の業務を引継ぐために、メルボルンに南極気象中枢 (International Antarctic Analysis Center) が設置されることになり、各国気象学者の参加を要請してきた。業務は本年2月2日から開始されたが、南極から南緯30度までの地域の地上、700mb, 500mb, 300mbの解析を 00z および 12z の 2 回行う。

3. 神山氏が医学博士に

本学会理事の神山恵三氏は、1月16日付で東京医科歯科大学から、医学博士の学位を授与された。論文は「寒冷刺激によるプレチモグラムの変動について」。

4. 和達氏メルボルンの国際会議に出席

本学会理事の和達清夫氏は、オーストラリア国で開催された南極地域観測に関するメルボルンにおける国際会

議に出席のため、2月16日羽田を発ち、3月8日帰朝された。

5. 藤原氏渡米

本学会会員藤原美幸氏は、米国イリノイ州立アーバナ水理調査所において1年間「レーダー気象の研究」を行うため、3月7日渡米された。

6. 清水氏渡米

本学会会員清水逸郎氏は、科学技術振興のための在外研究員としてシカゴ大学において一年間「エレクトロニクスを応用した気象器械と観測方法の研究」のため3月16日渡米された。

国際生気候・生気象学会日本支部発足

オランダに事務局を持つ国際生気候・生気象学会 (International Society of Bioclimatology and Biometeorology) の日本支部が去る3月11日に京都府立医大において発足した (会長・久野寧)。

この発足を祝して、当学会においても、理事長名でメッセージを送った。またこの日開かれたシンポジウムは次の通りである。

- (i) 気象学の立場より見た寒冷, 神山恵三 (気象研究所)
- (ii) stress としての寒冷, 田多井吉之介 (公衆衛生院)

(iii) 寒冷に対する生体感受性と体温調節, 緒方維弘 (熊本体質医学研究所)

(iv) 寒冷馴化と内分泌機能, 伊藤真次 (北大医学部)

(v) 耐寒性に関する諸問題, 吉村寿人 (京都府立医大)

(vi) 寒地における住宅の生活, 久野寧 (三重大生理学)

(vii) 南極における耐寒越冬生活, 中野征紀 (元南極越冬隊員)

入会申込みは北大医学部生理, 伊藤真次宛

堀口由己先生記念論文集の原稿募集についてお知らせ

先般死去された堀口由己先生の功績を記念して神戸海洋気象台から記念論文集が刊行されますから、次の投稿規定により奮って投稿されたい。

- 1. 掲載誌名: 神戸海洋気象台欧文報告
- 2. 内 容: 台風, 高低気圧, 前線, 豪雨, 海洋気象等を主とするもの。一般地球物理学に関するものもよい。

3. 用 語: 欧文

4. 枚 数: 印刷して5ページ位まで

5. 原稿送付先: 神戸市生田区中山手通7丁目 神戸海洋気象台 (堀口先生記念論文集と明記のこと)

6. 縮 切: 昭和34年9月30日

7. その他: 寄稿者に特別の制限はなく、掲載の論文に対しては別刷100部をさしあげます。(無償)